

ホルター心電図解析ソフト SCM-950S 技術資料（仕様書）

調達物品の構成

1 ホルター心電図解析ソフト 一式

- 1-1 ホルター心電図解析ソフトは
1-1-1 以下の要件を満たすこと。

- 1-1-1 ディスプレイ解像度は1920×1080dot以上に対応していること。
- 1-1-2 1ch、2ch、3ch、12chの心電図波形データが再生できること。
- 1-1-3 14日間以上の心電図波形データが再生できること。
- 1-1-4 解析、印刷、保存、送信、出力を並行して行えるマルチタスク機能を有すること。
- 1-1-5 研究発表などのために、表示画面をキャプチャして画像データとして保存できること。
- 1-1-6 被検者データを検索しやすいように、ハードディスク内に保存された被検者データをフォルダ管理できること。
- 1-1-7 弊社データマネジメントシステムから氏名等の被検者属性を取得し、被検者データと紐づける機能を有すること。
- 1-1-8 行動記録カード情報を入力でき、行動記録に合わせてトレンドにアイコン表示できること。
- 1-1-9 行動記録カードや安静時12誘導心電図データ等の画像を読み込み、被検者情報に添付できること。
- 1-1-10 解析時に心電図とSTの解析チャンネルを各々設定できること。
- 1-1-11 R波の波高に合わせて、解析時にR波検出感度閾値を3段階から設定できること。
- 1-1-12 解析時に心房細動やVT（持続性・非持続性）、SVTの不整脈イベントを自動検出できること。
- 1-1-13 解析時にSTイベントを自動検出できること。
- 1-1-14 心拍情報や不整脈情報を含む自動解析結果を一画面で表示できること。
- 1-1-15 編集時にキーボードが使用できること。
- 1-1-16 心電図の任意の区間を計測するために、2種類のデバída機能を有すること。
- 1-1-17 直前に行った編集を1回分元に戻したり（Undo）、Undoした編集をもう一度実行（Redo）できること。またUndo/Redoは最大で過去10回分の操作まで戻せること。
- 1-1-18 現在の編集状態を一時的に保存し、何らかの編集をした後でもワンクリックで一時保存した状態に戻せること。
- 1-1-19 心拍の分類がしやすいよう、モフォロジーの代表波形は1s表示と3s表示で切替できること。
- 1-1-20 モフォロジーの代表波形ごとにR波検出位置の変更ができること。
- 1-1-21 似た形状のモフォロジーの代表波形同士を、ドラッグアンドドロップでひとまとめにできること。
- 1-1-22 選択したモフォロジー群に含まれる波形のP波を、PR間隔やP波高によって分類表示し、心拍の分類に活用できること。
- 1-1-23 編集の効率化のため、RRレシオを用いて心拍の分類ができること。
- 1-1-24 モフォロジー群内で時間やRRレシオごとに分割して心拍の分類ができること。
- 1-1-25 モフォロジー群内から代表波形を選択して変更できること。
- 1-1-26 編集の効率化のため、モフォロジー群内の一覽波形をP波もしくはQRS波の形状に応じて相關順（似ていない順）に表示できること。また相關順の表示において、チャンネルの選択ができること。
- 1-1-27 圧縮波形、拡大波形、トレンドすべてにおいて心拍の一括分類や、房室ブロック等のイベント追加が可能なこと。
- 1-1-28 特定の波形を指定し、その波形と形状が似た波形を自動的に抽出して心拍の連続追加ができること。
- 1-1-29 不整脈イベントや患者イベントなどを登録波形としてワンクリックで一括登録できること。
- 1-1-30 不整脈が正しく検出されていない場合、検出閾値を変更して再計測できること。
- 1-1-31 心電図波形やイベントなどの表示色を任意で変更できること。
- 1-1-32 各操作に割り当てるショートカットキーが編集できること。
- 1-1-33 トレンド検索やRR検索等の検索画面のレイアウトを2パターンから選択できること。
- 1-1-34 レポートは縦書きと横書きで選択可能なこと。
- 1-1-35 出力したいレポート項目を予め印刷プログラムとして設定しておき、印刷プログラムを選択して印刷できること。
- 1-1-36 心拍情報や不整脈情報などのサマリ情報のレポート形式をカスタマイズして出力できること。
- 1-1-37 ST変化の判断のため、四肢誘導・胸部誘導含む重ね合わせ波形が表示でき、またレポート出力できること。
- 1-1-38 判読結果やコメントを入力し、判読結果レポートとして出力できること。
- 1-1-39 データをDVDやBlu-ray、外付けHDDに保存できること。
- 1-1-40 個人情報保護の観点から、必要に応じてデータの被検者情報を匿名化して保存できること。
- 1-1-41 ST計測機能を有すること。
- 1-1-42 血圧計測機能を有すること。また計測結果一覽やトレンドを一枚にまとめてレポート出力できること。
- 1-1-43 ペースメーカ計測機能を有すること。
- 1-1-44 SAS（睡眠時無呼吸低呼吸症候群）計測機能を有すること。
- 1-1-45 CVHR（Cyclic Variation of Heart Rate）計測機能を有すること。
- 1-1-46 HRV（Heart Rate Variability）計測機能を有すること。
- 1-1-47 QT（QT間隔・QTディスページョン）計測機能を有すること。
- 1-1-48 被検者IDをもとに、弊社データマネジメントシステムから標準12誘導心電計データを受信して表示できること。
- 1-1-49 記録器に保存された検査データを再生し、記録器毎に設定したRR間隔やR波振幅と比較する精度管理支援機能を有すること。またその結果をレポート出力できること。